

# 中央会 今昔物語

環日本海交流が叫ばれて久しい昨今。誤りのない国際交流をしていただく為の中央会式注意事項を、“お隣りの韓国”での諸先輩の経験をもとに出発から到着までをオムニバス形式でお送りする。

## 第四話「伝説、海を渡る」

### \*予備動作

とかく海外旅行という誤解されがちであるが誤解が誤解を呼ぶこともある。関係者特に奥様には入念かつ完璧な説明をお勧めする。

### \*出発

海外旅行慣れしたM先輩。卒会旅行は韓国と聞きパスポートを確認すると期限切れ。早速更新し準備OK。出発前日古いパスポートを見ると懐かしい思い出がいっぱい。子供の遠足の如く眠れぬ夜を過ごし慌てて岡山空港へ、出国審査の為取り出したパスポートには思い出がいっぱい。主賓不在の卒会旅行になるかと思われたが即座に会社に電話。「次の便で合流する」という執念を見せ、社員に新しいパスポートを届けさせた。そして待ち合わせ場所のソウルのホテルで感動の再会を果たしたのであった。…勇ましい様でいて実は“○×△□×”周囲の人にはただの迷惑…

### \*現地に

辛いものが大好きなS先輩、キムチなどは朝飯前。現地のクラブで出されたつまみの中の一品に青唐辛子に唐辛子味噌をつけて食べるというものがあつた。これが中々のつまもの。山盛りの青唐辛子の中には現地の人でさえ敬遠するほど辛いものが何本か混ざっているという。当りを食べたメンバーは口が開けないほど。やはりというか当然というか、その青唐辛子を使ってゲームが始まった。激辛を五本選び全部食べたら賞金30,000円(外見は同じだが現地の人には辛いのがわかるらしい)悠然と名乗りをあげるS先輩。「俺のためにあるようなゲームだ!」心が叫んでいる。一本めで許容量の範囲を超えている辛さ。三本めあたりでは自然と涙が出て来る。やめときゃいいのに最後まで食べきる。翌朝便所から出てこないS先輩。自家製キムチの素のような水溶性血便が止らなかつたということである。…一口で二度辛い?健康あつての人生です…

### \*帰国

奥様にお使いをおおせつけられたN先輩。「石焼ビビンバの鍋買ってきてよ」のお言葉に必死で探す。何の為に来たか解らないほど時間を費やし、ようやくお使いの品4個セットを購入。石焼だから当然石の鍋、しかも蓋付きでかなりの重さ。出国審査では手荷物の個数、大きさ以外に重さも検査の対象。無理やり詰め込んだのでバッグが歪な形に。不審に思われた重さの計測と中身の検査。重さの正体がビビンバの鍋と解り不問に付されるも空港でバッグの中身を広げられるのはかなり恥ずかしい。ようやく日本に着いたら再び手荷物検査。「石焼ビビンバの鍋です」と説明するのに「骨董品なんかじゃないの?」疑われること30分。足止めをくらったのは手荷物のせいではなく自身の“目つきの悪さ”にあることを指摘されたN先輩であった。…普段からにこやかに!笑う者には福来る…

### \*アフターケア

出国の時に登場していただいたM先輩。内緒の旅行のはずが何故か手には土産のキムチ。会のメンバーから指摘され慌てて吉備団子を購入。でもバッグにはソウルのタッグ。…アフターケアは完璧に!…

以上旧中央会式旅行の注意事項でした。

## 聞いてごしない Part 13

古き良き時代「昔は良かったなあ」「近ごろの若い奴は…。」よく、私を含めたおじさん方の口ぐせではありますが、昨今の世間を騒がす事件を見ますとおじさんの口ぐせではすまないやりきれないきどおりに感じます。

自分を世間に認めさせるために、バスジャックをして人を刺し殺し子供を人質にする将来のない事件。殺人を経験したいから、見ず知らずの民家に入り、殺人を犯す学生は「年寄は将来がないから殺してもいいと思った。」と被害者を異常な定義づけで選択する事件。

コンピューターウイルス「I LOVE YOU」による感染方法はそのメールのフォルダを開くと、同時に被害者のパソコンに入っている知人のアドレス先にも自動的に感染し、いつのまにか被害者が加害者となる陰謀な思考のぞく事件。犯人の素顔を想像すると、なぜかファミコンでゲームに負けたり行き詰まった時に「リセットすればいいや。」と取り返しのつかない事を平気で犯し他人の痛みを感じない人間像が浮かんできます。

社会は競走理論で成り立っている所があります。その競走の果てに副産物として、人の痛みを感じない人間を産みだしていると考えるのは間違いでしょうか。

さて、一転してトライアスロンのボランティアを考えると選手は何年もの努力によりゴールを勝ち取りますが、それは自分自身に勝ったと言う満足感を与えているのでしよう。そして選手を応援しているボランティアの方々はそう言う姿に感動し自分を振り返っている様に見える。

先達って皆生から果立った若者がオリンピックの正式種目となったトライアスロンでシドニーにいます。

彼「小原 工君」は中央会の例会で講演をしていただいた事もあります。彼は、失礼ですがオリンピックに出るには年齢が少々高い様です。しかし、何年もの間オリンピックをめざし何度もサセツと迷いをくり返したと、身近な関係者から聞きました。もちろん小原君の不屈の精神があつたのですが地元彼の周辺に集まった人々の応援なしには、永年の努力は維持できなかった事を彼自身も認める所です。今年はテレビにかじりつき、応援してやりたいものです。それによって自分自身に勝つエネルギーを与える気がします。それが自分自身に勝ち、人の痛みを解る人間になる近道のような気がしています。

(アニマル)

## 6月例会案内

とき 平成12年6月15日(木) 18:30~

ところ 米子国際ホテル

内容 今年度委員会活動報告ならびに次年度委員長抱負担  
担当 広報委員会

## 6月役員会報告

6月定例役員会が平成12年6月1日(木)、米子食品会館に於て開催された。当日の主な議題は、次の通りです。

- (1) 委員会報告書作成の件
- (2) 名簿作成の件
- (3) 収支見込みの件
- (4) 6月例会・7月役員会、総会開催の件
- (5) その他

※尚、詳細については、委員長までご照会下さい。

## 編集後記

先日、会社の出口によく太った「ビービーまめ」があつた。そう、子供の頃、音色を競いあつたあの「ビービーまめ」である。きっと誰しも経験があるのではなからうか。つつい笛を作り吹いてみる。いい音が鳴るではないか。ちょうどその頃、なかなか進まない案件があり、苦慮していたが、急にいいアイデアが浮かび、クリア。「ビービーまめ」のおかげかはわからないが、そうであつてほしいと思う今日この頃である。

# Handsome

発行人：鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 堀田收 編集責任者 小林慎一 印刷所 東京印刷製

## 平成12年度理事・監事、県出向役員推薦 決定!

平成12年度5月15日(月)、ホテルサンルート米子で行われた臨時総会にて次年度理事・監事の承認、県出向役員の推薦の件が審議された。

土井一朗次年度会長から「次年度は21世紀を迎えることとなり、中央会にとっても大事な1年。新しい世紀の扉をあけるに相応しい会員にその職をお願いした。」と推薦の弁があつた。議長に選任された奥森副会長のすみやかな議事進行のもと同議案は満場一致にて承認された。

# 5月例会報告

平成12年5月15日(月) ホテルサンルート米子に於いてビジネス委員会の担当で5月例会が開催された。堀田会長より「今年度も残すところ2ヶ月となり、各委員会も最後のまとめをきちんとして頂き次年度に引き継ぎ、そしてより親睦を深めて頂きたい。」と挨拶があり、3名の新加入会員のバッジ授与式が行なわれた。委員会タイムでは、長谷川一成会員から、「最近気になる事としてIT(インフォメーションテクノロジー)関連の事」と題して発表。



講演会では、鳥取県出身者では初めてのJリーガーであり、現在「JOY FOOTよなご」代表の塚野真樹氏より「スポーツとは何か」～NPO法の可能性～という演題にて話があった。塚野氏御自身のJFL時代から現在のJ1すなわちJリーガーとして活躍されるまでの経験を契約(給料)の事をからめて楽しくお話をされた。そして塚野氏は、「子供たちのように楽しいからスポーツをすることが本来スポーツをするための一義的な目的であり、精神修養、お金のためにするスポーツは二義的な事である。そうでなければ、野茂やカズのようなスポーツ選手は存在しない。しかし今迄の日本では学校、企業においてスポーツをすることがほとんどであり、ここでは教育的効果、健康のため、宣伝効果など二義的目的の為にスポーツでしかありえなく、本来の楽しいはずのスポーツではない」と説明され「スポーツは、自由な領域での遊び」という考え方を示された。しかしNPO法を使えばこの米子に於いても色々な可能性がでてくる。例えば、今迄は教員(公務員)の人たちがスポーツ団体などを指導してきたが、資金が動かさないので、十分な活動ができなかった。しかしNPO団体に指定されれば自分達で主体的に資金もうごかせスポーツをスポーツとして出来る可能性がでてくる。そこで塚野氏は、NPO団体「やまつみスポーツクラブ」を創り本来スポーツをするための一義的目的を達成するために頑張ると、そして最後に「スポーツとは何か、それは遊び。そして、NPO法を使ってやろう。」と講演を結ばれた。



## 5月度委員会報告

**マネージメント委員会**  
平成12年5月9日(火) 於:米子食品会館 出席者/9名  
内容/ 各会員が一年を振り返ってそれぞれの思い出、感想を話し合った。

各自、思い出話に花が咲き、話が横道へそれることが多々あったが、最後に遠藤委員長が皆の意見を聞きまとめを行った。

**ビジネス委員会**  
平成12年5月9日(火) 於:米子食品会館 出席者/9名  
内容/ 5月担当例会の最終打合せ

- ・タイムスケジュールと役割分担・人員配置の再確認
  - ・司会者ベースでの最終チェック
  - ・委員メンバーの集合時間の徹底
- 以上の事について再度全員で確認し例会成功を誓い合い散会した。

**政治行政委員会**  
平成12年5月8日(月) 於:ホールサムインかいけ 出席者/10名  
内容/ 研修旅行の内容相談

- ・一年間の委員会活動をふりかえって一人一人の感想

**げんこつ委員会**  
平成12年5月11日(木) 於:米子食品会館 出席者/8名  
内容/ 一年間のまとめ

**地域ビジョン委員会**  
平成12年5月9日(火) 於:ホールサムインかいけ 出席者/8名  
内容/ 6月例会最終決定

- ・委員会一年間を振り返ってフリートーク

**21地球委員会**  
平成12年5月10日(水) 於:岩崎館 出席者/8名  
内容/ ケナフの種を全会員に配り終えて、最後にホームページに掲載する内容をパソコンを使って実際見てみた。

ケナフの紹介を中心に地球の環境を考えるすばらしい出来であった事を確信した。この中央会のホームページを全世界に発信して皆で地球環境を考える事になればと思う。

我が委員会のまとめもどうやらうまく出来たみたいだ。

**☆☆ケナフのホームページできました!☆☆**  
当委員会で製作を進めておりました、ホームページ「ケナフのおはなし」が完成し、中央会HP上から閲覧できるようになりました。アドレスは<<http://www.sanmedia.or.jp/tsc/>>「活動報告」のページにリンクしていただいております。是非ご覧ください。

**2020 グランドデザイン委員会**  
平成12年5月11日(木) 於:米子食品会館 出席者/10名  
内容/ 「魅力ある中央会」のテーマで提言をまとめ、6月最終委員会で現・次年度会長に列席していただき報告する事となった。単なる提言にとどまらず、会員各自がどのような行動をとるか話し合った。

**広報委員会**  
平成12年5月8日(月) 於:米子食品会館 出席者/16名  
内容/ ・ハンサム6月号の編集  
・6月例会の担当決めならびに委員会タイムの内容検討

**総務委員会**  
平成12年5月8日(月) 於:ホールサムインかいけ 出席者/15名  
内容/ ・レクリエーション例会の反省

- ・一年間を振り返って
- ・研修旅行について
- ・新入会員の紹介

## 加茂川カヌー体験記



5月3日、加茂川でカヌーに乗った。空は快晴、五月晴れ。気分爽快。カヌーはボートのような形をしていて和舟の櫂のようなオールを前後の二人で漕ぐ。川岸の桜並木の新緑が

そよ風に揺れ心地よい。川端のベンチにいた婆さんたちが私たちのカヌーに気づいてびっくりされたが、笑顔で手を振ってくれた。カヌーはゆっくり進むからいろんなモノが見える。護岸の古い石組み、歴史を感じさせる家屋や倉、庭木に水をやってる老人の姿、岸辺に植えられた花々、もちろん加茂川の中も...

加茂川は生活排水で汚れていた。私たちが川を汚さないようにすれば、もっと川と親しみ、川で遊ぶことができる。身近なこと、自分にできることから気をつけたいと思った。

今回、加茂川でカヌー体験したのは広報の後藤、高村、桶村、長谷川会員、影山親子、そして地域ビジョンの中島会員親子ら十数名。思い思いに加茂川を上ったり下ったり、いつもの違う川面からの景色を楽しんだ。そして、お昼はパーベキューに舌鼓。青空の下、肉もビールも実に美味しかった。身近な場所でアウトドアが楽しめました。

(影山)



## 鳥取県中小企業青年中央会会員交流会開催

### 水と文化の街、倉吉へようこそ

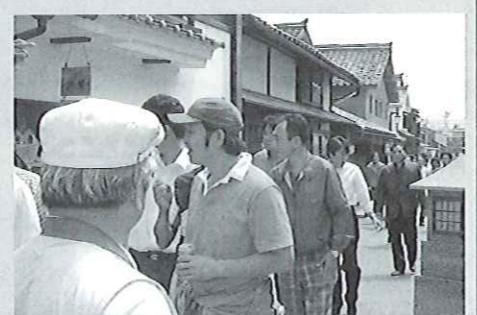
5月21日、午前8時。堀田会長率いる15名は、一路倉吉は打吹公園へ向かった。

10時10分、水谷県会長より開会の挨拶を頂き、総勢40数名の参加、本年度方針「見なおそうよ“故郷・人・心”！」の主旨のもと、地域特性の再発見、会員相互のつながりの強化を目的として中部の企画にて行なわれた。打吹公園周辺名所・旧跡及び「赤瓦」視察の内容であった。

江戸時代以降に建造されその風情を崩す事無く佇む「白壁の土蔵群」が続く街並みを廻ってから、打吹公園へ向い、「大江神社」へ。宮司の話を拝聴した後、スダジイの樹が生い茂る参道を「長谷寺」へと登る。其々の形でお参りして、下山。

食事会の開かれる椿の平では、中部青年中央会、食同好会によるパーベキューが用意された。東部青年中央会会長、中部青年中央会次年度会長らが感謝と抱負を述べられ、また参加者全員の自己・自社PRなどを行ない、大変愉快的交流会となった。最後に堀田会長からの締め挨拶と三本締めで、東・中・西部青年中央会交流会は終了した。

「今回の中部は頑張った。次回担当の我々も負けない様、努力したい。」と奥森副会長より次年度西部担当となるので決意を語られた。



### コピーをして名簿にお貼り下さい

(総務)

あら かわ ひで みつ  
**荒川 秀光** A型  
オーエスサービス株式会社 代表取締役  
倉庫業務委託、石油卸、石材、石製品、製造販売  
〒683-0035 米子市目久美町37番地4  
TEL 34-3689 FAX 34-0828  
(KT) (EM)  
H12.05入会 (推薦者) 中原(浩) 米子市目久美町37番地4  
上井(一) 〒683-0035 S46.4.8 TEL.34-3689

(コメント)  
オーエスサービス(株)の荒川秀光と申します。弊社は、隠岐島の石油備蓄基地にて、石油タンク管理業務をしております。弊社は私の父が創業したものであり、訳あって、登記簿上は一年前より私が会社の代表者となっております。皆様方とお付き合いさせて頂き、若い方ですので、体力面など、少しでもお役に立てればと思っております。また、もともと無理矢理やらされたのですが、社交ダンス教室で、アシスタントをしたりしています。よろしくお願い致します。

(広報)

ふく ば かず まさ  
**福場 一真** B型  
(有)フクマサ 仮設足場架設レンタル 代表取締役  
〒683-0103 米子市富登町118-1  
TEL 25-0783 FAX 25-0784  
(KT) (EM)  
H12.05入会 (推薦者) 由島(雄) 米子市夜見町3076-38  
小原(伸) 〒683-0851 S35.8.11 TEL.24-4252

(コメント)  
この度は入会させていただき有難うございます。私は仮設足場架設レンタルの会社をしております。まだ会社を作って3年で月日も浅く何もわからない時であります。これからは先輩方々の御指導をいただきながら地域に役立つ会社に行きたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。